

2023年8月24日
一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会

モザンビークの国民的ミュージシャン・ナジャがディレクション。

初の、北九州×モザンビーク親善ソング 『Let's go Kitakyushu』のMVを公開。

2023年秋冬のナジャの出前公演を募集。

北九州とモザンビークに事務所を構える一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会が、設立10周年の一環として、北九州とモザンビークを結ぶ、初の親善ソング『Let's go Kitakyushu』をモザンビークの国民的ミュージシャンであるNadja（ナジャ）と制作。ミュージックビデオの公開を記念して、2023年秋冬のナジャの福岡・北九州圏での出前公演先を募集します。

一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会（所在地：福岡県北九州市小倉南区、代表理事：榎本恵）は、北九州市文化芸術活動支援事業の一部助成を受けて、北九州親善ソング『Let's go Kitakyushu』を制作。モザンビークの国民的ミュージシャンで社会活動家でもあるNadja（ナジャ）をディレクターに、モザンビークのいのちをつなぐ会が運営し約350人の子どもたちが通うペンバ寺子屋の子どもたちと共に現地でレコーディング、ミュージックビデオを制作しました。MVの公開とナジャの来日を機に、2023年秋冬のナジャの出前トーク&ライブを募集します。



一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会は、2013年4月に設立。支援の光の当たらないエリアで「食べる・学ぶ・創る」を通じて同じ世界に住む人たちの命を守るダイレクトな活動を途切れることなく続けています。

【主な活動】

教育活動：スラムの学び舎・寺子屋の運営

公衆衛生活動：子ども公衆衛生活動、コレラ・HIV予防活動

環境保全活動：青年美化隊による環境美化活動、食べられる緑化・モリンガ栽培活動

テロ紛争被災者支援活動：避難施設・平和の家の建設と運営、食料・衣料配布

国際相互理解推進活動：日本・欧州での講義公演活動

お問合せ先

一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会(PVM)

担当 榎本恵 Email: enomegu@gmail.com / Tel: 090-2584-8144

<http://www.tsunagukai.com>

〒800-0233 福岡県北九州市小倉南区朽網西3-12-6 TEL: 093-472-1444



Nadja

Nadja ナジャ (マコンデ民族)

1987年、内戦中に、モザンビーク共和国カーポデルガド州のマコンデ民族の故郷ムエダで生まれる。

3歳の時に戦火を逃れるため、州都ペンバに母に背負われ、二人の姉と共に移住。東アフリカで人気を博したミュージシャンであり、戦争被害者の救済にも注力した叔父ナングンドに引き取られ、音楽と共に生きる暮らしが始まる。

18歳で最初のバンドを結成した時期に、ナングンドが事故で亡くなり、その意志を引き継ぎ、音楽を通じた社会貢献活動にも積極的に携わる。

ナジャが暮らす州最大の貧困地区での日々の暮らしや、マコンデ民族の誇り、昔物語を歌にのせ、マコンデ族の伝統的な音楽形式であるマピコを礎とした、独自のアフロビートの世界観で、注目を集める。

モザンビーク国内最大の音楽祭をはじめ、チャリティGALA、アフリカ圏の要人の会合での演奏の機会も増え、国民的アーティストに。

2015年より日本・欧州での公演活動を開始し、これまで400箇所以上で公演を行う。

モザンビークのいのちをつなぐ会とは設立前の2012年から現在にわたり協働している。2019年には現地でモザンビーク政府認証の青年共同組合を立ち上げ、同時期から激化しているカーポデルガド州でのイスラム過激派の攻撃による被災者の救済活動や、国内外での平和創造活動を行っている。

【北九州市内・公演決定スケジュール】

■ 9月30日 (土曜日)
nigiwaiよっちゃん・北九州にぎわい製作所
(小倉北区紺屋6-21 テシビルⅡ 2F
TEL. 093-541-6323)
Open: 18:00 Start:19:00
Charge: 1,500円 + 寄付カンパ